

## 『近年出土の考古資料』開催

今年文化財保護法が制定されて50周年にあたります。前回の考古資料展「近年の平塚市内の緊急発掘調査の成果」から8年、平塚市内では平成4年度以降100件を超える発掘調査が実施され、多くの資料が蓄積されています。

なかでも注目されるのは、奈良時代から平安時代に市内に相模国府が所在していたことを裏付ける資料の数々。そして、北金目台地に展開する弥生時代の集落からは、大量の炭化米や「おにぎり状炭化米」など、全国的にも類例が少ない貴重なものも出土しています。

今回の展示では平成4年度以降、平塚市内で出土した考古資料の中から、21遺跡を厳選し、「平塚の古代米」「台地上の遺跡」「沖積低地の遺跡」の3テーマをご紹介します。



城山横穴群(平塚市岡崎)出土の鉄鏃・装飾品

会 期：平成12年12月 2日（土）～

平成12年12月24日（日）

会 場：平塚市博物館特別展示室(入場無料)

主 催：平塚市教育委員会

問い合わせ：平塚市教育委員会社会教育課(0463-35-8124)